

TOKYO BRASS CONCORD

東京ブラスコンコード 第31回演奏会



写真提供 株式会社フォトライフ

2019年5月26日(日) 13:30 開場 14:00 開演

プログラム

- マーチ「コンテスター」
The Contester (T. J. Powell)
- ブラスメンズ ホリデー [ホルネットトリオ]
Brassmen's Holiday (M. R. Armengol)
- ロシア民族音楽 [バラライカとの共演]
Russian Folk Music
- ボヘミアン ラプソディ
Bohemian Rhapsody (F. Mercury)
- トリティコ
Trittico (J. Curnow)
- 喜歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲
"Die lustigen Weiber von Windsor" Overture
(O. Nicolai)

指揮 川端 寛

ゲスト出演

北川記念ロシア民族楽器オーケストラ

上野学園
石橋メモリアルホール

JR 各線「上野駅」入谷改札より入谷口から徒歩8分
東京メトロ・日比谷線/銀座線「上野駅」1番出口より徒歩8分

他

入場料 1,200円 (小・中学生 1,000円)
お問い合わせ 0429-44-8839 (シライ)
090-3428-6703 (イノウエ)
ホームページ <http://web-tbc.com/>



指揮者プロフィール



写真提供 (株)フォトライフ

川端 寛

東京理科大学数学科卒業。1975年より東京都内の私立高校に勤務し吹奏楽部を立ちあげる。1987年よりウィーンにて1年半、ウィーン国立音楽大学指揮科カール エステライヒャー教授に師事。

以後、2004年までの18年間は、1年の3分の1をウィーンやフィレンツェで過ごす。故・井上謹次氏（元東京ブラスコンコード主宰者兼指揮者）から音楽全般、吹奏楽部の運営・指揮法を学ぶ。東京ブラスコンコードでは、2013年の第26回演奏会から指揮者を務める。

ゲストプロフィール

北川記念ロシア民族楽器オーケストラ

2009年 日本におけるロシア民族楽器オーケストラの最高峰を目指して結成。同年12月初舞台。

2014年9月に、創立5周年記念コンサートを開催。

2013年と2017年には、ロシア公演。

バラライカやドムラ、グースリ、バヤンといったロシアの民族楽器を中心に、古今のロシア音楽、ロシア民謡の他、幅広いジャンルの音楽を採り上げ、各地で公演を行っている。

今年10月27日にティアラこうとう大ホールにて創立10周年記念コンサートを開催予定。

今回はオーケストラの各パートから1名ずつ小編成で参加。

北川 翔 (バラライカ)

ロシア民謡研究者であった北川剛を祖父に、バラライカ奏者であった北川つとむを父に持ち、幼少よりロシアの音楽に親しむ。

2004年 ロシア国立ラフマニノフ記念ロストフ音楽院に特別奨学生として入学。

2008年 国際ロシア民族楽器コンクール<ペロゴリーエ杯>にて、日本人初となるバラライカ部門優勝。

全国各地での公演や、テレビ朝日「徹子の部屋」、NHK「うたコン」など、TV、ラジオ、新聞等にたびたび登場し、日本でのロシア民族楽器普及のため、幅広く活動している。

日本ユーラシア協会常任理事、北川記念ロシア民族楽器オーケストラ音楽監督。



東京ブラスコンコード (Tokyo Brass Concord)

東京ブラスコンコード (TBC) は、東京都内を中心に活動している英国スタイルの金管バンドです。日本では非常に限られた数の演奏団体しかなかった1981年1月、当時の指導者である故・井上謹次氏を主宰者兼指揮者として発足し、活動を開始しました。

英国スタイルの金管バンドは、コルネット、ユーフォニアムなどのサクソルン属や直管系のトロンボーンといった金管楽器と打楽器で構成される約30名のバンドで、本場英国では200年近い伝統のある演奏形態ですが、日本で活動が盛んになってきたのは近年のことです。この演奏形態はまだ多くの方々に耳慣れないと思われかもしれませんが、いわゆる「吹奏楽」とは違い、ブラス（金管楽器）と打楽器のみの編成による合奏であり、同属の金管楽器群から生まれる響きは繊細さと輝かしさを持ち合わせています。

私たち、東京ブラスコンコードではそうした美しい響きを求めて練習に励んでいます。演奏は、英国のトラディショナル（民謡）から金管バンドのために書かれたオリジナル、クラシックの編曲まで幅広い曲目を採り上げています。活動は、年1回の演奏会（東京：上野学園 石橋メモリアルホール）を中心に、各方面の演奏会に参加させていただいております。